

Babel Streetベンダー審査 (Vendor Vetting) ソリューション

BABEL STREET INSIGHTS

ベンダー審査 (Vendor Vetting) とは、企業の包括的な評価を行うプロセスであり、特に重要産業分野、防衛能力や技術競争の激しい環境において、米国政府との提携に適した企業かどうかを判断するために実施されています。これにより環境や物流の混乱といったサプライチェーンが従来から抱えるリスクにとどまらず、中国やロシアのような近隣の敵対国家や、イランや暴力的過激派組織 (VEO) のようなその他の敵対勢力によるベンダーの脅威を特定し、緩和します。このような敵対勢力は、複雑な所有構造を通じてベンダーの関係や活動を覆い隠して、米国のサプライチェーンに意図的に侵入しようとし、基幹産業への参入、事業の混乱、風評被害の発生を狙います。

ベンダー審査では、ベンダーの所有権、財務の健全性、地政学的なつながり、サイバーセキュリティ耐性、規制遵守、全体的なリスクプロファイルを調査して、ベンダーが不正な活動を通じて、国家安全保障、業務の完全性、ミッションクリティカルな業務を危険にさらす可能性のある隠れた脅威をもたらさないことを確認します。これらには以下が含まれます。

- 重要資源をめぐる競争 — 半導体、医薬品、重要鉱物など
- サイバー攻撃とデジタルリソースの悪用
- 複雑な外国人出資比率、支配、または影響力 (FOCI: Foreign Ownership, Control, or Influence)
- 重要技術分野における海外の製造・技術への依存度の増大

残念ながら、ベンダーのリスクを特定し評価する既存の機能では、多くの点で不十分です。

- **透明性の欠如** — 既存のソリューションには、限られたデータソースへの依存、データが英語のみ、リスクスコアリングの可視性の低さ、またはデータソースの非開示といった課題があります。

- **リスクの包括性** — 多くのソリューションは、ベンダーのリスク、つまり金融リスクやサイバーセキュリティリスクに対して、限定的な焦点から、あるいは十分なデータカバレッジを持たずに評価しています。
- **継続的監視** — 既存のソリューションでは、静的リスク評価から動的リスク評価への移行に限界があるため、多くの場合、手作業や特定時点での評価になり、組織は新たに顕在化したリスクに対して脆弱なままになっています。
- **相互運用性** — 多くのソリューションは、マルチレベルセキュリティ (MLS) 環境で運用されている既存の米国政府システムとの相互運用性に欠けており、また柔軟なデータ共有オプションが組み込まれておらず、クロスプラットフォームでのコラボレーションや自動化を困難にしています。

何が危険にさらされているのか

ベンダー審査の現状は、重大な悪影響をもたらしかねない脆弱性を生み出しています。

国内およびグローバルな安全保障上の脅威 — サプライチェーンへの侵害は、機密性の高い機器、技術、データを暴露し、国家安全保障上の利益や重要なインフラを危険にさらす可能性があります。

- **業務上の混乱と遅延** — ベンダー承認プロセスの長期化は、商品やサービスの流れを妨げ、プロジェクトの遅延、コスト増加、業務効率の低下を引き起こし、意思決定の優位性を損う要因となります。
- **風評被害** — 制裁対象団体や敵対勢力とつながりのある団体と知らずに取引を行うことは、機関の評判に回復不能な損害を与え、その職員や任務に対する信頼を損なう要因となります。

Babel Streetを活用するメリット

Babel Streetは、サプライチェーン全体の潜在的なリスクを特定することで、サプライチェーンの回復力を強化します。多様なデータソースからのインサイトを活用し、Babel Street独自のリスクフレームワークを通してそれらを見ることで、プラットフォームはベンダーリスクの包括的な全体像を提供します。これにより、各機関がサプライチェーンを保護するための効果的な緩和戦略を実施することが可能になります。

Babel Streetは、データ収集と分析を自動化することでこのプロセスを合理化し、徹底した調査を実施しながらも、より迅速なリスク評価と調達決定を実現します。そのスピードと効率性は、変化する要件に迅速に対応する必要がある機関にとって不可欠です。

機能紹介：

包括的なデータ — Babel Streetは、入手困難なデータやアクセス拒否されたデータ環境を含む、一般公開および市販情報（PAI/CAI）の広範なコレクションを提供します。60,000以上のエグレスポイントを持つ当社の広範なプロキシネットワークにより、アナリストは国境を越え、地理的制限を回避して、世界中のあらゆる場所から得られる情報にアクセスすることができます。

AIを活用したインサイトとリスク評価モデル — このソリューションは、AIを適用して審査プロセスを最適化し、高度な分析と独自のリスク評価基準を活用して、潜在的なリスクを自動的に特定して評価します。

継続的なモニタリングと審査 — サプライチェーンのリスクは絶えず発展しています。Babel Streetソリューションは、ベンダーのリスクプロファイルをほぼリアルタイムで表示し、ユーザーに変更を警告し、新たな脅威に先んじることができます。

ナレッジグラフ — 動的でインタラクティブなナレッジグラフは、国家間の敵対者によって隠されたり、意図的に難読化されたりする可能性のある企業、人、文書間の関係を視覚的にマッピングします。ナレッジグラフは、個人、企業、子会社、パートナー、主要な関連会社などの実体を特定し、整理し、それらの直接のおよび間接的な関係、階層構造、横のつながりを表示します。

合理化されたワークフロー — 審査プロセスの重要な側面を自動化することで、Babel Streetは手作業による調査時間を短縮し、ベンダーの承認を迅速化し、重要な調達を遅らせているバックログを解消します。

堅牢なテキスト分析と名称照合 — 完全に統合されたAIを活用した分析機能により、多言語でのスマート検索、名称照合、エンティティ抽出機能を実現しました。Babel Streetは、ベンダーのデューデリジェンス、脅威分析、サプライチェーンの透明性に関連する業務上の優先事項に沿った、統合されたカスタマイズドのリスクフレームワークと分析モデルを開発するために、これらのAIによる分析を活用しています。

Babel Streetのベンダー審査 (Vendor Vetting) ソリューションは、意思決定の優位性を高め、国家安全保障を守る包括的なリアルタイムのインサイトを提供することで、急速に進化する現代のサプライチェーンリスクの課題に対応します。Babel Streetは、グローバルで多様なデータソース、AI駆動リスクモデル、継続的なリスク監視を活用することで、機関や組織がグローバルサプライチェーン全体のベンダーリスクを積極的に特定、評価、軽減することを支援します。当社のテクノロジーソリューションは、相互依存が深まる今日の世界において、安全で弾力性があり、吟味されたサプライチェーンを実現するための重要な役割を果たします。

Babel Street は、世界で最も高度なアイデンティティ・インテリジェンスとリスク管理を可能にする、信頼、実績のあるテクノロジーパートナーです。Babel Street Insights プラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度な AI およびデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Street は、言語を問わず他に類を見ない分析対応データ、能動的なリスク識別、360 度のインサイト、高速自動化、既存システムへのシームレスな統合を提供します。当社は、政府機関や企業組織が、重要なアイデンティティおよびリスク管理を戦略的な優位性に変換できるように支援します。

詳細については、babelstreet.jp をご覧ください。